

# あかちゃん医療の現状と あかちゃんをみ送った家族の想い ～父として・母として～ を開催して

SIDS 家族の会北陸支部 代表 丹保 美枝



この度は、SIDS オープンフォーラム in とやま 「あかちゃん医療の現状とあかちゃんをみ送った家族の想い～父として・母として～」に、たくさんの方にご参加いただき、とても感謝しております。

私が、「グリーフケア」という言葉を知ったのは、約6年前。北陸支部の立ち上げのために、近畿支部を離れる最後の仕事の時でした。今回もご講演頂いた、坂下裕子さんのお話を聴かせていただいて、「私も、グリーフワーカーとして、何かしていきたい」と強く思いました。

しかし、北陸支部を立ち上げ、最初は、多くの方がミーティングに参加してくださったのですが、それぞれの道を歩まれるようになってからは、ミーティングへの参加者も減ってまいりました。ミーティングへの参加者が減ってきたのは、北陸地区のみならず、全国の支部においても、同じような状況とききました。

そんな折、石川県立看護大学の米田昌代先生から、「あかちゃん こどもの死を考えるセミナー ～流産・死産・新生児死亡・乳幼児死亡～ in 金沢」での、スピーカーとしてのご依頼を受けさせていただくことになりました。米田先生の、グリーフケアに対する熱意と、石川県における関心の高さに、非常に感心させていただきました。

そして「富山県でも、オープンフォーラムを開催したい」と申し出たのが、約2年前となります。そんな私の思いを、米田先生は、快く引き受けてくださりました。

また「ひまわりの会」や、「天使のゆりかご」のご協力もいただけることとなりました。

フォーラムの準備を始めて、約1年後、「てんしのゆりかご」のご協力いただけることとなりました。

こうして、「SIDS 家族の会」「ひまわりの会」「天使のゆりかご」「小さな天使のママの会」の4つの会による、オープンフォーラムが、開催されることとなりました。

フォーラムには最終的に、医療者67名、一般・遺族19名、学生15名の、計101名の方に、ご参加いただきました。

講師を引き受けてくださった、仁志田先生、坂下さん、準備～当日のスピーカー、会場設営などなど、すべてにおいて、ご協力してくださった、SIDS 家族の会の方々をはじめとして、たくさんの方のご協力により、無事フォーラムを終えることができました。

本当に多くの方の支えがあってこそ、今回のフォーラムが、開催できたと思います。

皆様には、感謝してもしりません。

今後、北陸の地に、4つの会と医療に携わる人たち、そして同じ想いを抱えている遺族の方々の連携が、できればと思います。

そしていつか、「あかちゃんをみ送った家族の想い」の続編を、開催できればと思います。

本当に、ありがとうございました。